

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	オリーブ		
○保護者評価実施期間	令和 7 年 3 月 1 日		～ 令和 7 年 3 月 15 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	令和 7 年 2 月 10 日		～ 令和 7 年 2 月 20 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7 年 3 月 31 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所の室内空間は比較的広く、学習机も複数ある。パーティションがあるので、個別支援について物理的環境が整っている。	年齢的にも、1年生～3年生くらいまでの児童が多い。室内活動を中心にしっかりと体を動かして活動できる。工作や簡単な調理活動をメニューに入れて楽しんでいる。専門講師によるリトミック、英会話体験などを提供している。	低学年児童が多い為、基本的には個別療育が中心のサービスとなるが、小集団でも少しずつ活動が出来るように、遊びの幅を広げる工夫をしていく。
2	地域住民や知久町1丁目自治会及び商栄会との交流が可能であること。また、りんご並木での歩行者天国イベントなどに参加出来る。飯田市動物園も近くにある。児童クラブとの交流事業に参加出来る。	愛宕神社祭典に参加させて頂いている。知久町1丁目商栄会との連携事業として、ハロウィンパレードの企画など実施し、地域との交流を深めている。商栄会所有のプランターの植栽作業を事業所で担当させてもらっている。事業所職員のみでの支援ではなく、地域住民の方々との関りの中で成長できる環境が整っている。	橋南児童クラブとの交流活動に関して、一緒に取り組める作業などを増やしていくことで、更に交流が楽しくなると考える。カレーなどの調理体験も、出来るだけ共同作業で作りあげる仕組みづくりを考えてみたいところである。
3	様々な社会参加の体験ができること。	徒歩による街歩き、公共交通（JRやバス）を利用した移動手段の体験を通じて、一般的な交通ルールや公共交通の利用方法などを事業所活動として体験できる。簡単な買い物体験（スーパーなど）も土曜・祝日中心に可能。	年間の実施回数をもう少し増やすことで、実社会で生活していくために必要なスキルが向上する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	個別療育への課題	集団的療育活動は充実しているが、個別療育に重点を置くべきケースに関して、職員1名を専門に配置することが難しく、どうしても、集団活動の中での個別支援にとどまってしまう傾向にある。	・職員の専門性を高める為の更なる専門研修への参加。 ・個別支援が可能となる人員配置。
2	事業所の位置が建物2階であることと、エレベーターなどの設備がない為、急な階段を昇降せねばならず、転倒などの危険リスクが高い事。	建物が賃貸物件である為、バリアフリー化の工事などは現状として無理である。	職員による見守りや身体を支えるなどのサポートが常時必要であるが、安全確保の為に、職員一丸となってサポート体制を整えている。雨天や降雪時は特に注意が必要である。
3			